

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	一般小売店〔輸入ブランド品〕（経理担当）	来客数の動き	・観光客の増加に伴い、来客数も増加している。
	やや良くなっている	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・単価の低い状況は変わらないが、来客数は前年比105%となっており、売上高も対前年比を上回っている。
		その他専門店〔書籍〕（店）	販売量の動き	・サッカーワールドカップ効果で、それに関連した週刊誌、雑誌等の売上が上昇している。
		高級レストラン（副支配人）	来客数の動き	・大会やイベント等への団体客が増加し、来客数が増加している。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・夏の観光シーズンを前に宿泊客の入込も前年並みになっており、3か月前に比べるとやや上昇している。会議、研修等への利用が増加しており、料飲部門、とくに宴会場の稼働率が上昇している。
	変わらない	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・飲料水等の販売量は増加しているが、来客数は増加していない。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で、来客数が大幅に減少した。まとめ買いを期待したが、客単価に変化は見られない。
		家電量販店（副店長）	単価の動き	・夏場に向けて季節商品が動き出しているが、依然として平均単価が低下傾向にある。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	お客様の様子	・3か月前に比べ、来客数はやや増加しているが、対前年比では、数字の落ち込みが歴然としている。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・国内からの入込客及び沖縄から本土への旅行者数も好調だが、海外旅行は伸び悩んでいる。
住宅販売会社（経営者）		来客数の動き	・価格の高い一戸建ての販売は不振の状況だが、マンションの販売額は増加している。	
やや悪くなっている	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・イベントを開催しても来客者は多いもののその後の契約につながらない。	
	コンビニ（経営者）	単価の動き	・3か月前に比べて客単価が5ポイント下落している。	
悪くなっている	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響が大きく、サッカーの放映を店内でやった店舗では来客数が通常の約18%増加したが、テレビ等の設置ができなかった店舗では、約23%の減少となった。周辺店舗でも、急きょプロジェクターやTVを設置する店が増え、日本戦の時にはスポーツカフェでは行列ができていた。夕方からのいい試合は早めにかえて自宅で観戦というのが来店時間の動きから、多く感じられる。	
	商店街（代表者）	競争相手の様子	・厳しい中で様々な取り組みをおこなっている周辺部の大型店舗に対し、商店街の店は特に取り組みを行っていないため、状況は日々悪化している。	
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	通信業（従業員）	取引先の様子	・諦めかけていた案件が復活している。金額ではなく本当に客が求めるニーズをきちんと把握して最適なものを提案し続けた結果が表れた。
	変わらない	不動産業（支店長）	受注量や販売量の動き	・受注件数や成約件数が横ばいである。
	やや悪くなっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・住宅公庫の見なおし問題も含めて、客が住宅購入に関してますます慎重になっている。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新規プロジェクトを獲得できない。
悪くなっている	-	-	-	
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・新たな依頼が増えている。また周辺の企業をみても仕事が増えたとの声が聞かれる。
	変わらない	-	-	-
	やや悪くなっている	-	-	-

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪く なっている	-	-	-